



村章

広報

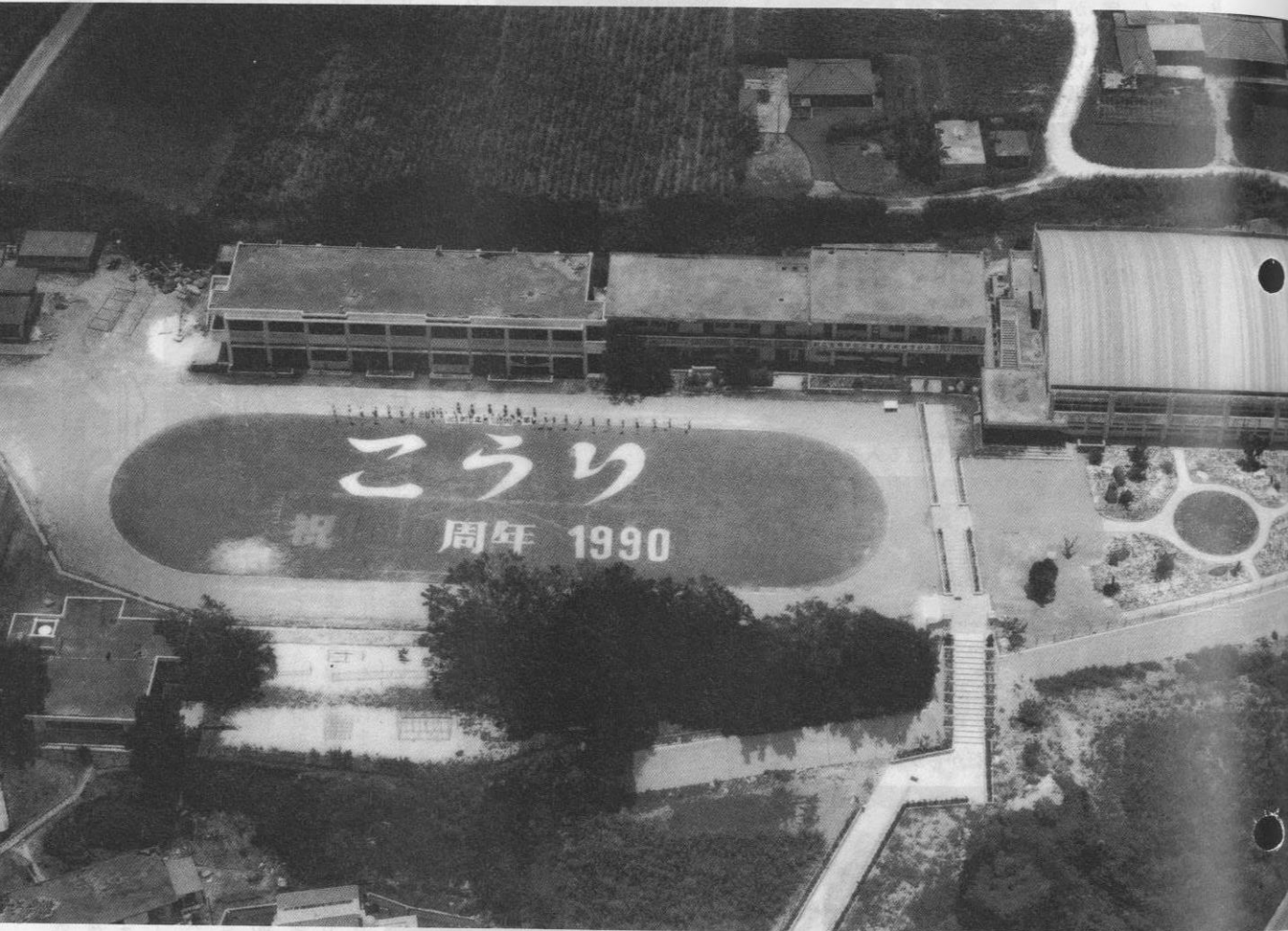
なまじん

1990年

12月

No. 181

毎月1日発行



祝

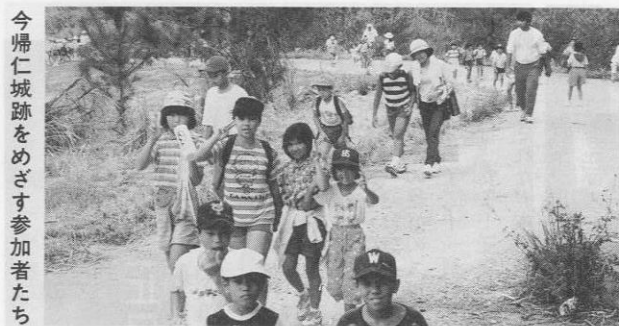
古宇利小学校が創立100周年

十一月十一日「古宇利小学校創立百周年記念式典・祝賀会」が同校体育館で行われた。式典で、児童会長の金城亜里紗さんは「百年というすばらしい歴史をきざんできたわが校にほこりと自信をもち、多くの先輩の築き上げてきた立派な伝統を、より発展させていきたいと思っています。今日のこの日をくぎりに、明日から二百年への新しい一步をふみだすために、私達は、新しいことに挑戦し、苦しいことやつらいことにも決して負けない強い心をもってすすんでいきたいと思っています」と喜びの中にも新たな決意を語った。

今婦仁村の人口
平成2年10月31日現在



村の人口 9,687(-19)



今帰仁城跡をめざす参加者たち

秋風にさそわれ 第2回歩け歩け大会 森の役割も学ぶ

このほど村教育委員会主催で仲原馬場を出発点として行われた。「歩くことを通して、自然とのふれあい、お互いの交流を図り健康の保持増進をすめよう」と二歳の幼児から七十五才のおじいさんまで約二百人が参加して楽しく開催。

出発を前に歴史資料館準備室の仲原弘哲さんから仲原馬場の説明を受け、午前十時今帰仁城跡をめざし、乙羽林道、富原林道を通り十キロメートルのコースを約五時間かけて歩いた。

途中の林道添いには、シイの木、コシダ、ツワブキなどの植物や蝶、昆虫などを観察しながら

①森は水を貯える「みんなの



歩き終え本丸跡で思い思いにくつろぐ

「アンコール」と拍手の嵐

大井学テノールリサイタル

大井学 テノールリサイタル
主催 今帰仁村教育委員会



文化祭のイベントの一つとして、十一月三日午後六時三〇分「大井学テノールリサイタル」が、コミュニティセンターホールで行われた。大井学さんは今帰仁小学校から天底小学校に転入し、四年生の夏まで在学。その後、那覇市に移り、那覇高校沖縄キリスト教短期大学を卒業され、カリフォルニア州立大学に留学、マイケル・セルス博士に師事。一九七〇年に第一回リサイタルを開催。以来、精力的にコンサート活動を続けている。世界のエンターテイナーの夢の殿堂、ニューヨークのカーネギーホールにおいて、昨年記念すべ

き第十回リサイタルを開くなど国内外において高い評価を得ている。

大井さんは今帰仁での思い出として、友人とケンカして、教室の外に立たされたことや羽地内海で見た珊瑚礁の輝きが宝石以上に美しく思えた幼い頃を語り、渡久地このみさん（沖縄芸術学院講師）の伴奏で、R・トステイの「ラ・セレナータ」Gブッチーニの「太陽と愛」宮良長包の「母恋し」など情感たっぷりに歌い、フィナーレのイタリア民謡「カタリカタリ」でアンコールの拍手が鳴りやまず、聴衆は芸術の秋を満喫した。

②森と山が雲ぐもをつくる。森の木が吐き出した水蒸気が「雲」となり、再び雨となる。

③森は山くずれを防ぐ自然のネット。

④木の根や枯れ葉が地表の土を守っている。

⑤海の魚やウナギたちは、きれいな川（海）で産卵し、海（川）に戻る。

⑥森がきれいな海を守る。

と参加した方々に今帰仁の豊かな自然の大切なることを強調した。

昨年の三・五キロメートルに比べ今年は十キロメートルと長い距離でしたが、みんな元気に今帰仁城跡の本丸跡に到着。古城のたたずまいや山、海に目をやりながら、思い思いに完歩の喜びを語り合っていた。

村民参加の文化の祭典

年々充実発展

第八回今帰仁村文化祭

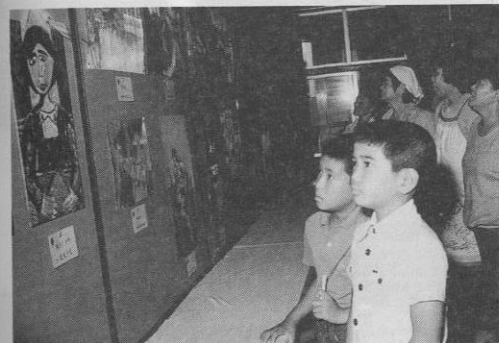
「村にくらしと文化を拓く」をテーマに、十一月三日、四日「第八回今帰仁村文化祭」が、中央公民館とコミュニティセンターで盛大に開催された。今帰



▲北山高校の先生方によるトランペット演奏は聴衆を魅了した

午後一時三〇分から関係者多数が出席する中、西島一将実行委員長（教育長）、上間博安村長山城正議長の手によるテープカットが行われ開幕した。

会場の中央公民館とコミュニティセンターには、小学生の習字、図画をはじめ、中高校生、一般の書道、絵画、陶芸、染織生け花、手工芸、盆栽、農産加工品等合わせて四百点余が展示され、村内外から訪れた方々は熱心に作品を鑑賞していた。ま



▲真剣な表情で作品を観る人々

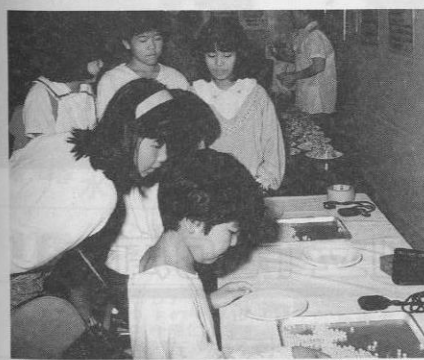
た、試食コーナーでは、参観者が、ジュースややてんぶらをおいしそうに頬ばっていた。

舞台の部では、四日午前に、大正琴演奏、ロゴスの腹話術、天底小学校、今帰仁中学校の児童生徒による吹奏楽、保母の会のオペレッタを発表。午後は村老人クラブによる古典音楽、民謡愛好会の島や若夏、木踊会の貫ち花、高齢者の今帰仁ミヤークニー、仲尾次の亀の甲、諸志の松竹梅などが披露された。そ



▲保育所の先生方によるオペレッタ「ほがらか森のくぬぎの木」

のほか、遊びのコーナーでは、子どもたちが、保母さんの手ほどきを受けながら、牛乳パックのキュービックパズルやアダン葉の風車、ススキでつくるフクロウ、馬などに挑戦。それに、今帰仁の民話を題材にした紙芝居やパネルシアター、エプロンシアター、各保育園の写真も展示され子どもたちを喜ばせた。



▲給食展でおはしの正しい使い方に挑戦



▲何ができるかな？



▲草月、専正池坊、嵯峨御流、小原流それぞれにすばらしい



▲ウム……みごとなものだ！

家族そろって参加しよう 第13回新春ロードレース

正月恒例の行事として親しまれている新春ロードレースが、1月2日村営グラウンドを出発地点として開催されます。あなたも1991年のスタートをロードレースで飾ってみませんか。

- ◆日時 平成3年1月2日(水)
午前8時受付、午前9時30分
開会式、午前10時スタート
- ◆場所 村営グラウンド(雨天時は役場前)
- ◆申し込み先 村体育協会事務局(中村あゆみ)
電話 56-2101(内線24)
- ◆参加料 300円(スポーツ保険料含む)
- ◆申し込み締切 12月13日(木)午後5時(参加料
ご持参をお願いします)

- ◆種目
- (1) 小学校 男女 1,000M(3年生~6年生)
- (2) 中学校 男子 3,000M・女子 2,000M
- (3) 高校 男子10,000M・女子 2,000M
- (4) 一般 10,000M (5) 30代 5,000M
- (6) 40代 3,000M (7) 50代 3,000M

●詳しいことについては体育協会にお問い合わせください。



各チーム堂々の入場行進

元気はつらつ 若さがいっぱい 老人婦人スポーツ大会

澄みきった秋晴れの空のもと「第十六回今帰仁村老人婦人スポーツ大会」が十月二十一日、村営グラウンドで開催された。大会は村老人クラブ連合会(宮里政新会長、会員九五四人)村婦人会(大城義子会長、会員六六三人)主催で行われたもので、スポーツを通じ、体力の保持増進を図り、世代間の交流と融和を深め、明るい豊かな村づくりにつとめようというもので、約三千二百人の人出でにぎわった。

午前九時からチーム旗を高く揚げ入場。嘉陽宗哲さん、我那覇敏子さんの力強い選手宣誓で大会の幕があき、九時三十分から小学生とおじいさん、おばあさんによる玉入れて競技開始。

島造りの踊り、千変万化、ゲートボールリレー、四百メートルリレー、ボールつきレース、二十代から七十代までの年令別リレーなど、二十一種目に元気はつらつとした競技が展開された。また、小中学生の学年別リレー、職域リレー、後援団体リレーもあり、大会に花を添えました。



さて、どちらが1位でしょう

健康づくりにご利用を

ビデオと全自動血圧計導入

村民の健康づくりに役立てるため、役場では、このほどテレビ、ビデオデッキ各一台、血圧計四台を設置しました。

近年、高齢化社会における健康教育は重要になっており、視



血圧計はボタンを押すだけの簡単操作

聴覚教材(テレビ、ビデオ)及び全自動血圧計を利用した保健活動を実施し、健康づくり教育を図るために導入したものです。これらは財団法人自治総合センターが実施している一般コミュニケーション(宝くじ助成)の補助により導入したもので、総事業費は、二〇〇万九〇八円(内、補助金二〇〇万円)です。血圧計は役場、コミュニティセンター、中央公民館に設置されています。お気軽にご利用され、皆さんの健康づくりにお役立てください。

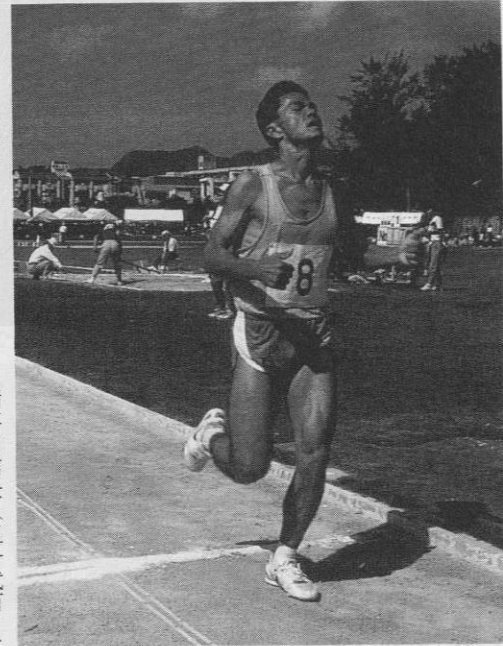
壮年と女子準優勝

浜里正巳選手 千五百と五千に新記録 第27回国頭郡陸上競技大会

第二十七回国頭郡陸上競技大会が、十月二十八日午前九時から名護市宮陸上競技場で国頭郡の十町村が参加し行われた。当日は秋晴れの絶好のスポーツ日和の中、男子二十一種目、壮年十二種目、女子十三種目に熱戦が展開された。本村からは四十二人の選手が出場し、浜里正巳選手が千五百メートルで四分五秒三、五千メートルで十五分二〇秒〇と二種目に大会記録を樹立したのをはじめ、各種目に好成績を取めた。

大会の結果、壮年と女子が江村に次ぎ準優勝。一般男子も健闘し三位、総合三位の成績でした。順位と村の三位までの入賞者は次のとおりです。

- ◎総合優勝伊江、準優勝宜野座三位今帰仁、四位本部、五位国頭、六位恩納、七位金武、八位大宜味、九位東、十位伊是名
- ◎一般男子優勝伊江、準優勝宜野座、三位今帰仁、四位国頭、五位恩納、六位本部、七位金武、八位東、九位大宜味、十位伊是名



浜里正巳選手千五百と五千に大会新記録

- ◎壮年優勝伊江、準優勝今帰仁三位大宜味、四位宜野座、五位恩納、六位国頭、七位金武、八位本部、九位東、十位伊是名
- ◎女子優勝伊江、準優勝今帰仁三位本部、四位宜野座、五位国頭、六位金武、七位大宜味、八位東

- ◎大嶺敦(走巾跳)三位
- ◎島袋勝也(三段跳)二位
- ◎男子年齢別リレー二位、嘉陽安彦(やり投)三位
- ◎我那覇宗康(三〇代百)二位
- ◎石川清敏(三〇代千五百)二位
- ◎我那覇勝明(三〇代円盤投)三位

- 位恩納、九位東
- ◎瑞慶山良邦(二〇キロ)一位
- ◎宮里晃(一万)一位
- ◎島袋幸輝(四百H)二位
- ◎吉嶺真(三千障害)一位
- ◎浜里正巳(千五百)一位、五千一位
- ◎一般男子四百リレー二位

- ◎諸喜田信夫(五十代百)二位
- ◎宮里優子(百)一位、やり投二位
- ◎玉城恵(二百)二位
- ◎我那覇孝子(八百)二位、三千二位
- ◎女子四百リレー三位
- ◎玉城ヒフミ(走高跳)三位

沖縄県緊急土地対策キャンペーン

昨今の地価の高騰や土地の大量買占め、土地利用の混乱は、農業の振興を阻害し、住宅地取得を困難にするともに、自然環境の保全や各種公共事業の実施に支障を来たすなど、社会・経済に重大な影響を与えています。土地は限られた資源であり、住民の生活、生産の場として、また、子々孫々に継承していくべきかけがえのない財産であります。このため、土地基本法の四つの基本理念

一、「土地」は、その利用については、公共の福祉が優先されること。一、「土地」は、適正な利用及び計画に従った利用がなされるべきであること。

一、「土地」は、投機的取引の対象とされてはならないこと。一、「土地」は、価値の増加に伴う利益に応じた適切な負担が課されるべきであること。

——をここで確認し、わがふるさとをの土地を守り、後世にこれを引継ぐため、県と県内五十三市町村は、平成二年九月十四日沖縄県緊急土地対策市町村合同会議において、行政が成し得る限りのあらゆる努力を傾注することを宣言し、県民の皆さんへの土地問題に対する深い御理解とその解決のため絶大な御協力を強く呼びかけます。

◎キャンペーン実施期日 平成二年十二月三日(月)から九日(日)まで。

◎主唱 沖縄県、県内各市町村。

歳末たすけあい運動



今帰仁村社会福祉協議会



今帰仁村山田原農用地造成工事の起工式が、十一月十四日午後四時から諸志の造成地に関係者が出席して行われた。

今回実施される土地改良は、沖縄農業構造改善緊急確立モデル事業の一環として、平成元年度に認定を受け、この度、

六ヘクタール整備 諸志山田原土地改良組合

農業所得の向上をめざして

▲おごそかに安全祈願

関係者に心から感謝申し上げます。組合員一同力を合わせ、農業振興に頑張ってくださいませ」と抱負を語った。

なお、山田原農用地造成工事は、受益面積六ヘクタール、総事業費九六〇万円、平成三年三月に完工の予定。来年度は造成工事に引き続き、パイプハウスの導入が決まっており、完成後は、マンゴーと観葉植

事業実施の運びとなった。起工式にあたり、山田原土地改良組合（組合員六人）の内間利三組合長は、「この山田原農用地造成は、組合員が何年も前から待ち望んできました。このように、事業が実現し、工事が着工されることは大変嬉しく思っています。今帰仁村をはじめ関係者に心から感謝申し上げます。組合員一同力を合わせ、農業振興に頑張ってくださいませ」と抱負を語った。



▲小学生エイサーのあとハイポーズ



▲午前四時那覇出発のランナー



▲一九五二年の古宇利小学校



はばたけ若鷺

—黒潮にのって世界の星となれ—

古宇利小学校創立100周年記念式典・祝賀会



▲校旗を揚げパレード(北部製糖前)



▲1965年度の卒業記念写真



▲祝賀会は盛大になごやかに

明治二十三年四月十三日開校した古宇利小学校（大城実男校長）が今年創立百周年を迎え、十一月十日、十一日の両日に記念式典が挙行された。

十日は午前十一時からパレードが行われ、西正門（中通り）ヌブイジョウ前（一歩縦通り）棧橋のコース。古宇利丸で運天港へと場所を移し、マイクロバス三台で天底の山岳へ。横断幕、校旗、村旗を先頭に、児童生徒のエイサー、幼稚園児の御輿、職員、関係者が仲宗根の街をねり歩き、古宇利へと、離島ならではの幕あけとなった。

十一日午前十時からは西正門でテープカット。続いて、大城実男校長、山川功期成会長、金城亜里紗児童会長、平田さ

おり生徒会長らにより、学校発祥の地碑、記念門、校歌碑、記念碑の除幕が行われると出席者から盛んな拍手がおこった。

午後一時三〇分からは体育館で記念式典が開かれ、式辞で、大城実男校長は、「新しい未来を展望しながら豊かな心をもち、たくましく生き、二十一世紀を担う児童生徒の育成をめざして全力を傾注します」と語った。式辞の後、記念事業功労者百十五名に感謝状が贈られた。ついで上間博安村長、西島一将教育長が祝辞を述べた。式典終了後、祝賀会があり多彩な余興で百周年を祝った。なお、記念事業として、庭園の整備、図書の実践記念誌の発行も合わせて行われている。



▲校歌碑の除幕



▲百周年事業期成会の皆さんは心なかと刻まれた記念碑の前で記念撮影

今注目 POP広告 商工会が講習会

POP講習会が、このほど村商工会館において行われた。では、POP広告とはいったい何



講師の話に熱心に耳をかたむける受講生

POP講習会が、このほど村商工会館において行われた。では、POP広告とはいったい何

物定植することになっている。マンゴーなどの熱帯果樹は、県内需要を中心に生産が増加傾向にあり、ウリミバエの根絶宣言にともない、県外出荷拡大が期待される。近年、村内でも農家の観葉植物や熱帯果樹の生産意欲が高まりをみせる中、栽培技術の向上により、低コスト生産が推進されている。

だろつという疑問がわく。POPとはポイント・オブ・パーチエイスの頭文字をとった略語で「ピー・オー・ピー」と呼ばれている。日本語では「購買時点」と訳され、いわゆる販売店の店頭、店内において、お客さまが自由に買いたい物が

POP広告によって、マスコミで宣伝されているものを、さらに印象づけたり販売効率を高め、売上につなげる目的があることから効果的な広告に仕上げるため、デザイン



納税は豊かな村への道むるべ

納税表彰式で17団体と10名表彰

「正しく申告、笑顔で納税」の表彰式



平成元年度 村県民税・固定資産税 軽自動車税 三税成績表

(平成2年10月31日現在)

字名	調定額	納付額	未収額	納付率
今泊	8,355,300	8,063,100	292,200	96.5
兼次	2,524,400	2,524,400	0	100
諸志	2,981,100	2,809,200	171,900	94.2
与那嶺	3,956,500	3,956,500	0	100
仲尾次	2,796,600	2,406,100	390,500	86.0
崎山	2,688,500	2,688,500	0	100
平敷	3,852,700	3,769,900	82,800	97.9
越地	4,155,700	4,155,700	0	100
謝名	6,700,400	6,700,400	0	100
仲宗根	20,993,500	20,371,960	621,540	97.0
玉城	6,324,800	6,152,800	172,000	97.3
呉我山	1,281,600	1,281,600	0	100
湧川	9,337,300	8,888,700	448,600	95.2
天底	8,178,300	7,851,500	326,800	96.0
勢理客	1,782,700	1,763,000	19,700	98.9
渡喜仁	2,775,600	2,663,700	111,900	96.0
上運天	4,583,900	4,549,900	34,000	99.3
運天	3,546,700	3,546,700	0	100
古宇利	2,526,900	2,454,300	72,600	97.1
合計	99,342,500	96,597,960	2,744,540	97.2

十一月五日午後三時から平成元年度納税表彰式が中央公民館で行われ、区長、議員をはじめ関係者多数が出席しました。席上、金城弘和名護税務署長は、「村長、区長をはじめ、税務課職員の税務行政に対する限りない情熱を拝察致し、深く敬意を表します」と述べられました。

本村では、納税意識が年々高まっており、平成元年度の村県民税、固定資産税、軽自動車税の三税合算額で表彰を受けたのは、納付率百パーセントの兼次、与那嶺、崎山、越地、謝名、呉我山、運天と九五%以上の今泊、平敷、仲宗根、玉城、湧川、天

底、勢理客、渡喜仁、上運天、古宇利の十七カ字でした。なお村税全体では九九・一%と県内五三市町村の中で七位と高い納付率となっています。

税の作文・標語コンクール実施

各字の納税表彰に引き続き、今回初めて実施された「税の作文・標語コンクール」の入選者の発表がありました。

これは、村税の納税思想の高揚を図り、納税成績の向上をめざすことを目的に行われたもので、標語の部に六八点、作文の

- 部に十名の応募がありました。審査は十月十五日午後一時から中央公民館の和室で審査員(黒島直太氏外四名)により慎重に行われ、入選作品が次のとおり決まりました。
- 標語の部**
- 一般の部優秀賞
 - 〇正しく申告笑顔で納税
 - 山城一男(崎山)
 - 〇村づくりあなたと私の税金で
 - 与那嶺勝(崎山)
- 中学生の部優秀賞
 - 〇納税は村の豊かなエネルギー
 - 仲宗根一(兼次中三年)
 - 〇納税は豊かな村への道しるべ

- 江中直人(兼次中三年)
- 〇納税でささえていますこの社会
- 津山和枝(今帰仁中二年)
- 〇納税は良い村づくりの第一歩
- 諸喜田弥生(今帰仁中二年)
- 〇あなたの税村をささえる大きな力
- 平良洋樹(今帰仁中三年)
- 作文の部**
- 〇最優秀賞
 - 屋嘉比アンナ(今帰仁中三年)
 - 〇優秀賞
 - 石川静子(兼次中三年)
 - 比嘉千夏(兼次中三年)
 - 作文の部最優秀賞の「気持ちよく納税」は次回に紹介します。

写真にみる今帰仁 ⑦

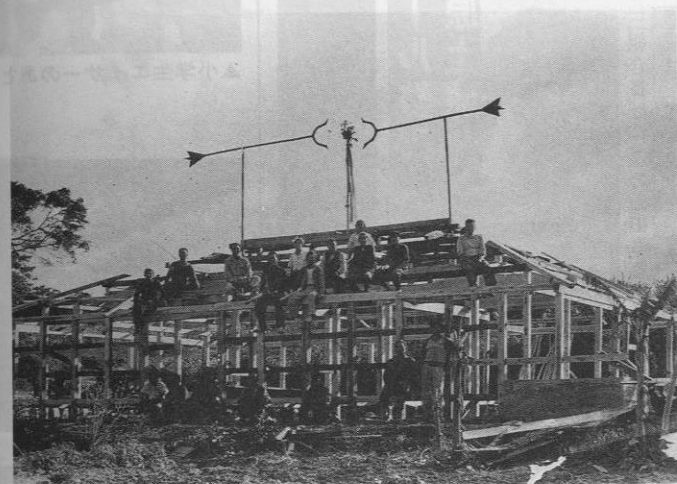
平敷公民館の棟上げ式(昭和三十年代)

この写真は、今帰仁村のほぼ中央に位置する字平敷の旧公民館建設(昭和三十年代)の棟上げ式の場面である。公民館建設に関わっているムラの人たちが屋根に十一名、下に七名が写し出されている。当山清紀氏(字平敷在)が区長をした後に請負い建設したものである。

写真には大城忠三(屋根右から五番目)や当山清紀(屋根左から三番目)、当山清勝(屋根左から四番目)、伊集万助(下右から四番目)、大城寿助(下左から三番目)などの顔がみえる。写真に出てくるセーク(大工)達のほとんどが平敷出身である。着ている洋服をみると、ほとんどが長袖で、季節は冬のようにである。

戦後、復興期に茅葺屋根の公民館、そして昭和三十年代に瓦屋根の公民館(写真)を建て、さらに昭和五二年にスラブの公民館を建設した。平敷の公民館も例にもれず、茅葺→セメント瓦→スラブの変遷をたどっている。

今帰仁村内で使われている瓦

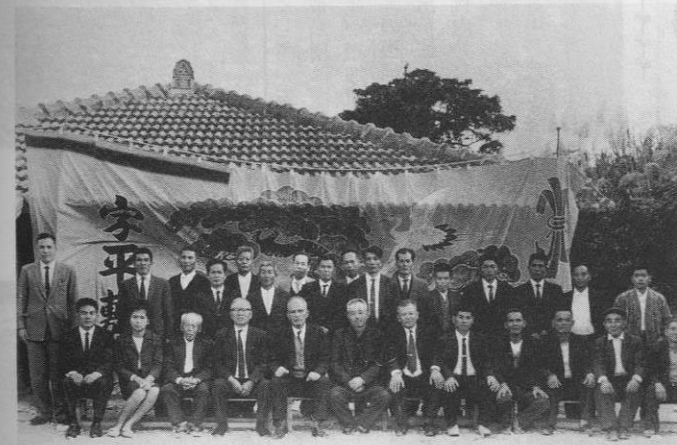


▲平敷公民館の棟上げ式(昭和30年代)

屋根の公民館は兼次と与那嶺だけとなった。新しく公民館を建設し、旧公民館がそのまま使われずに残っているところは、仲宗根と玉城と呉我山である。仲尾次の公民館が十月にハサギと一緒に取り壊された。

部落(字)の施設と言えば、共同売店やアサギなどがあるが、まず第一に公民館があげられる。その公民館は、ムラヤー(村屋)や事務所などとも呼ばれ、村内のどの字にもある施設である。

昭和四九年の平敷公民館の現況をみると「木造建設、広場は道が広がったような形であるが公民館や遊具・農機具格納庫(前は幼児園であった)に囲まれている。細長い方形の敷地を



▲「幕」寄贈の記念写真(昭和45年頃)

ある。棟上げ式は、その中で重要な儀式的場面である。写真を見ると、二本の弓矢(雌と雄がある)を棟木の両端にたて、矢先を向かわせ、その中央にノボリが立ててある。そのような儀式はいづ頃から行なうようになったのか定かでないが、『国頭郡志』(大正八年発行)で「家造の際、柱梁桁等の組立をなして上棟式を挙げ、板の表に『紫微變駕』の四字を認め、其の裏に『霜柱氷軒雪雨棟露之茸草』の十二字若しくは『福如東海広』の五字を横書きにして棟木に吊し、酒肴を供へて深更に式を行なふ」と記している。平敷の公民館の棟上げ式のときも、「紫微變駕」と記した棟札を打ち付けたという。平敷の公民館建設に使った材料の杉材は那覇で、セメント瓦は名護の宮城コーエイ氏から購入したものであったという(当山清紀氏談)。

下の写真は、幕が寄贈されたときの記念写真(昭和四五年頃)である。後方に瓦屋根がみえるのは旧公民館で、まだ健在のころである。この建物も、昭和五二年に姿を消してしまった。公民館の建物も時代とともに変わっていく。

仲原 弘哲
(歴史資料館準備室)

第十回今帰仁村青少年主張大会 郷土を誇りとして

平良 照美 (湧川中二年)



中国から首里へ、首里から湧川へ伝わってきたものこそです。

「ピーッ。」
この音が聞こえてくると「今年もまた村の豊年祭が近づいたんだなあ」と、うきうきしながらも、練習中、よくおこられた事を思い出し、いやな気持ちになります。

私のムラ湧川では、毎年旧暦の八月に豊年祭が行われます。その日は、村の人々は勿論の事、遠く那覇市や沖縄市に住んでいる親せきも戻ってきて、村にはぎやかに明るくなります。

私は、そのにぎやかさは好きですが豊年祭に中学生も踊りをしなければなりませんので、すなおには喜べません。

村には、青年も大人も大勢いるのに「どうして私達中学生が豊年祭に踊らなければいけないの……」と、いつも不満タラタラでした。

はつきり口に出して言えないが、不満がつつて、踊りの練習中におしゃべりをしてはおこられ、ふてくされて、タラタラしては「ちゃん手をあげなさい」「足はしっかり曲げろ。」と怒られたばなし。だから、豊年祭などなければいいのにといつか思っていました。

ところが、国語の時間、郷土について調べる事になり、調べているうちに私の心は大きく変わってしまいました。郷土の事なんて自分が生まれ育った所なんだから、大体のことは知っているつもりでした。

しかし、先生の話の聞いたたり字誌を読んでいくうちに自分が毎日生活している郷土についてあまりにも知らない事が多く、何も知らない自分がはかしくなってきました。

なんにもない、つまらない所だと思っていた自分の小さな村に「路地楽」というすばらしい民俗芸能が伝わっている事を知って感動しました。他にも、自慢できるものがたくさんある事を知り、グループを作ってもっと調べてみることにしました。

私達のグループは、真っ先に「路地楽」を調べる事にしました。

路地楽は、「ガク」という笛のような楽器と太鼓で演奏される音楽です。今から二百年頃前、

路地楽は、祝い事や国王が慶賀使として將軍家をおとすれる時など、行列のさきぶれとして演奏された歴史的にも由緒あるすばらしい音楽なんだそうです。

「ガク」の吹奏者は代々与儀家が伝承し、今日に至っているという事です。現在、与儀弘文さんが六代目だそうです。みじかにこんなすばらしい人がいたなんて驚きです。

方言が聞き取れなくて困ったり、約束した時間に会えない苦労もありましたが、地域のおじいちゃん、おばあちゃんをたずねていろいろ聞いていくうちに知らなかった事を知る喜び、人にものをたずねる喜びを知りました。地域の人々に接して、おじいちゃんやおばあちゃんの思いが、少しわかったような気がします。

村に今伝わっているものは、お年よりが長年かけて大切に守り育ててきたものだったのです。

朝起きると学校へ、学校がおわると家へという狭い行動半径

る宮崎県が予想どおり優勝を飾り、十連覇の偉業を達成。

沖縄県勢は、今一步の成績でしたが、本村から出場した浜里正巳選手(大宮中教員)と宮里晃選手(今帰仁村役場)が敢闘賞(副賞旅行券五万円分)、吉嶺真選手(沖縄光武病院)が新人賞(副賞シューズ券一万円分)を受賞し、各県の活躍した選手に贈られる三賞をすべて、今帰仁村出身者が受賞する快挙を成しとげた。

三選手は、大会終了後、村体育協会(大城勝会長)を訪ね、「日頃の村民の皆様の御支援に深く感謝し、これからも各種大会での活躍をめざし練習に励みます」と話していた。

三選手は、大会終了後、村体育協会(大城勝会長)を訪ね、「日頃の村民の皆様の御支援に深く感謝し、これからも各種大会での活躍をめざし練習に励みます」と話していた。

浜里・宮里・吉嶺選手 三賞独占

第39回九州一周駅伝



三賞の桶を手に吉嶺、浜里、宮里選手(左から)

第三九回九州一周駅伝競走大会は、十一月二日沖縄、九州の八県と山口の計九チームが参加して熱戦の火ぶたを切った。長

る宮崎県が予想どおり優勝を飾り、十連覇の偉業を達成。沖縄県勢は、今一步の成績でしたが、本村から出場した浜里正巳選手(大宮中教員)と宮里晃選手(今帰仁村役場)が敢闘賞(副賞旅行券五万円分)、吉嶺真選手(沖縄光武病院)が新人賞(副賞シューズ券一万円分)を受賞し、各県の活躍した選手に贈られる三賞をすべて、今帰仁村出身者が受賞する快挙を成しとげた。

国際化時代にふさわしい 人権意識を育てよう

十二月四日～十日は人権週間

○特設人権相談所開設

一、日 時 十二月十日(月) 十時～十六時

二、場 所 今帰仁村コミュニティセンター

三、相談担当者 地元人権擁護委員 二名

四、相談内容 那覇地方事務局職員 一名

人権問題、土地、住宅、金銭貸借、相続、戸籍、登記、交通事故その他法律問題、児童生徒間における「いじめ」の問題、困りごとなど。

戦没者等の遺族に 特別弔慰金支給

昭和40年に創設された制度で、戦没者等の遺族に対し、国としてあらためて弔慰の意を表するために支給されるものです。

平成元年度に制度の改正が行われ、昭和60年4月1日から平成元年3月31日までに、公務扶助料、遺族年金等を受給していた遺族(戦没者等の妻、父母等)が失権した場合に残された遺族に特別弔慰金として額面18万円、6年償還、無利子の国債が支給されます。

なお、第4回特別弔慰金(額面30万円、10年償還)の支給の対象となった遺族は対象となりません。

支給の対象者
特別弔慰金をうけることができるのは、主として次に記載された戦没者死亡当時の遺族のうち、次の順序に従って最も順位が先の人1人です。

- 1 平成元年4月1日までに弔慰金(遺族国庫債券)を受けた人
- 2 戦没者の子
- 3 戦没者と生計を共にしていた①父母、②孫、③祖父母、④兄弟姉妹
(婚姻、養子縁組により平成元年4月1日現在氏が変わっている人は該当しません)
- 4 戦没者と生計関係がなかったか又は上記3に該当しなかった①父母、②孫、③祖父母、④兄弟姉妹。
- 5 上記3及び4以外の三親等内親族
(戦没者死亡まで引き続いて1年以上生計を共にしていた人に限ります。)

請求の期限
請求の期限は、平成4年6月27日です。期限までに請求しませんが受給できなくなりますからご注意ください。
受付窓口は村役場厚生課です。詳しいことは援護担当にご相談ください。
電話 56-2101 (内線 39・40)

一寄附
村社会福祉協議会に次の方から寄附がありました。
◎宮里カメさん(越地三三三)から夫政仁さんの香典返しとして一〇万円。
◎与那嶺繁正さん(渡喜仁一三三)から母ナベさんの「カジマヤー祝い」を記念して五万円。
◎一心工場の真謝剛さんは文化祭の売上の一部一万円を「おとば学園」に寄附されました。ご芳志ありがとうございました。

楽しみながら健康に ジョギング教室開催

村教育委員会主催のジョギング教室が、九月十四日から十一月十六日までの十週間にわたって総合運動公園で実施された。

この教室は、いつでも、どこでも、だれでも気軽に実践できるジョギングを通して、運動不足を解消し、体力の向上を図ろうと行われた。

大城学村体育指導員をリーダーとして学級生五十九名の教室はスタートした。第一回と二回は、沖縄マスターズ理事長の白川政市先生、第八回に、トレーニンング指導士の大城江梨子、玉城ヒフミさんをお招きして、エアロビクスとストレッチングの大切さ、ジョギングの走法などの指導を受けた。

ジョギング教室の期間中には、雨や強風の悪天候もあったが、参加者からは、「楽しいので、

もっと続けてほしい」、「来年もぜひ教室を開いてください」などの要望や、「歩き方、姿勢もよくなり有意義でした」との声があった。

最終日はエアロビクスとストレッチングで盛り上がった



しかとれない自分が、とても小さいものに思えてきました。自分のことしか考えられない若者が増えてきたとよくいわれますが、私もその中の一人だったのです。そう思うと、これまでプツプツ言いながら参加していた豊年祭にも、今年からは違う気持ちで参加したいです。

持ちで参加できそうです。いなか、いなかと心の片隅にいつも自分の村をバカにして町にあこがれていた自分はずかしくなりました。これからは、自分の郷土を誇りにし、地域の行事にも積極的に参加していきたいと思えます。

●村民カレンダー

1990年

12月

師走



12月1日 土	○インフルエンザ予防接種(14:00~15:00受付、コミセン) ○手話サークルクリスマス会(18:00~コミセン) ○おもちゃ図書館(9:00~12:00コミセン)
2日	○兼次小学校学芸会(9:30~兼次小学校体育館)
3月	○デイサービス(10:00~17:00コミセン) ○ことばの教室(13:00~17:00コミセン)
4火	○人権週間(4日~10日) ○手話サークル(19:30~21:00コミセン) ○ことばの教室(13:00~17:00コミセン)
5水	○デフパペットシアターひとみ曾根崎心中(19:00~コミセン) ○デイサービス(10:00~17:00コミセン) ○歯科検診(13:00~14:00受付 中央公民館) ○心配ごと相談(13:00~17:00コミセン)
6木	○サントピア沖縄(10:30嵐山出発) ○牛のセリ市(11:00~家畜セリ市場) ○ことばの教室(13:00~17:00コミセン) ○デイサービス(10:00~17:00コミセン)
7金	○サントピア沖縄(7:30リゾートホテルハヤシ出発) ○デイサービス(10:00~17:00コミセン) ○ことばの教室(13:00~17:00コミセン)
8土	○今帰仁小家庭教育学級(14:00~16:00今帰仁小) ○おもちゃ図書館(9:00~12:00コミセン)
9日	○デイサービス(10:00~17:00コミセン) ○国頭地区小学校音楽発表会(9:30~名護市民会館)
10月	○世界人権デー ○ことばの教室(9:00~12:00コミセン) ○湧川小家庭教育学級(20:00~22:00湧川公民館) ○子豚セリ市(13:00~家畜セリ市場) ○デイサービス(10:00~17:00コミセン)
11火	○1歳6ヵ月健診(13:00~14:00受付コミセン) ○手話サークル(19:30~21:00コミセン) ○ことばの教室(9:00~12:00コミセン)
12水	○歯科検診(13:00~14:00受付コミセン) ○心配ごと相談(13:00~17:00コミセン)
13木	○ことばの教室(9:00~12:00コミセン)
14金	○デイサービス(10:00~17:00コミセン) ○ことばの教室(9:00~12:00コミセン)
15土	○学力向上対策研究発表大会(公開授業11:00~今帰仁小学校、今帰仁中学校、全体会13:30~コミセン) ○おもちゃ図書館(9:00~12:00コミセン)
16日	○国頭地区中学校音楽発表会(9:30~名護市民会館) ○おとば学園廃品回収の日(9:00~12:00各字公民館)

17月	○三歳児健診(13:00~14:00受付コミセン) ○デイサービス(10:00~17:00コミセン) ○ことばの教室(13:00~17:00コミセン)
18火	○兼次小家庭教育学級(8:00~17:00 アメリカンスクール視察) ○DPT予防疫種(13:00~14:00受付コミセン)
19水	○デイサービス(10:00~17:00コミセン) ○心配ごと相談(13:00~17:00コミセン)
20木	○天底小家庭教育学級(14:00~16:00天底小) ○ことばの教室(13:00~17:00コミセン) ○手話サークル(19:30~21:00コミセン)
21金	○北山老人大学修了式(14:00~コミセン) ○乳幼児学級(14:00~16:00中央公民館) ○デイサービス(10:00~17:00コミセン) ○ことばの教室(13:00~17:00コミセン)
22土	○古宇利小家庭教育学級(14:00~16:00古宇利小) ○おもちゃ図書館(9:00~12:00コミセン)
23日	○国頭地区中学校新人総合体育大会(9:00~名護市内) ○天皇誕生日
24月	○第一回今帰仁村ふれあい少年の翼(山形県酒田市)出発 ○国頭地区中学校新人総合体育大会(9:00~名護市内) ○クリスマスイブ
25火	○第一回今帰仁村ふれあい少年の翼(山形県酒田市) ○クリスマス
26水	○第一回今帰仁村ふれあい少年の翼(山形県酒田市) ○子豚セリ市(13:00~家畜セリ市場)
27木	○第一回今帰仁村ふれあい少年の翼(山形県酒田市)
28金	○第一回今帰仁村ふれあい少年の翼(山形県酒田市)帰沖 ○御用納め
29土	○役場年末休日
30日	○役場年末休日
31月	○大晦日 ○役場年末休日
1/1火	○元旦 ○役場年始休日 ○第10回今泊新春駅伝マラソン大会 (10:30 今泊公民館前スタート)

「取材班が今帰仁村を訪れ、為朝が舟で運天に向かうとの想定で撮影が行なわれた。サバニに乗り込んだダイレクター。折からの突風に煽られバランスを崩し、「パネルを離せ」と声をかけるが離そうとしない。ついに海中に吹き飛ばされてしまった。慌てる周囲の人々。ロープを探しに走った。今にも溺れそうな同僚を横目にそれでも撮影を続けるカメラマン。ダイレクターは、船頭に助けられたが、非情とも言うべきプロ根性を目のあたりにして恐れ入った。放送は十二月十八日午後十時からの予定。今年一年広報へ寄せられたご協力心から感謝致します。来年もよろしくお願ひします。」

野山には、すすきの穂が風にそよいでいるかと思えば、今帰仁城跡の桜の木は、ピンクの花を咲かせている。曆の上では師走を迎えたというのに、自然界はあまりのポカポカ陽気にとまどいを覚えているらしい。

■源為朝が漂着したと言われる運天。寺原の洞窟には、為朝のものといえられる手形が残っている。先日、NHKの「歴史誕生」取材班が今帰仁村を訪れ、為朝が舟で運天に向かうとの想定で撮影が行なわれた。サバニに乗り込んだダイレクター。折からの突風に煽られバランスを崩し、「パネルを離せ」と声をかけるが離そうとしない。ついに海中に吹き飛ばされてしまった。慌てる周囲の人々。ロープを探しに走った。今にも溺れそうな同僚を横目にそれでも撮影を続けるカメラマン。ダイレクターは、船頭に助けられたが、非情とも言うべきプロ根性を目のあたりにして恐れ入った。放送は十二月十八日午後十時からの予定。今年一年広報へ寄せられたご協力心から感謝致します。来年もよろしくお願ひします。」

